



## 酷暑の夏が終わり、実り多き2学期へ

校長 西尾 克人

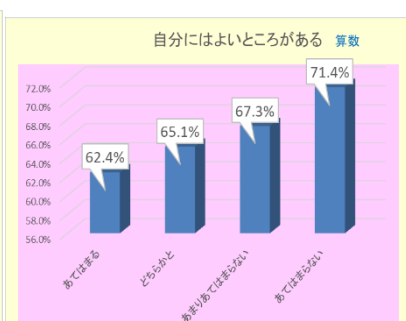
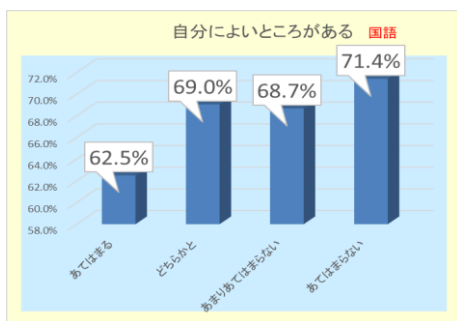
本当に酷暑が続いた夏休みが終わりました。子供たちの元気な声が響き、学校が蘇りました。2学期もよろしくお願いたします。

第6学年対象の「全国学力・学習状況調査」の結果が提供されました。5年間 南白小で教育を受けた子供たちの学習の結果です。他校や全国あるいは東京都との比較ではなく、授業改善や教育活動の見直しに生かしていきたいと思ひます。

全国並みの学力は付いてきていると分析しました。詳細は、また別の機会にお知らせします。

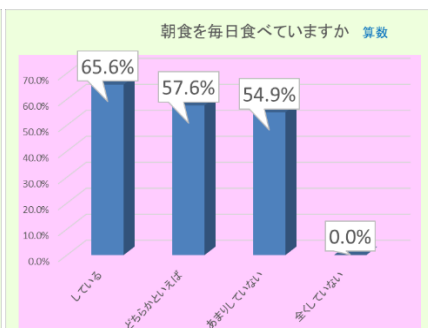
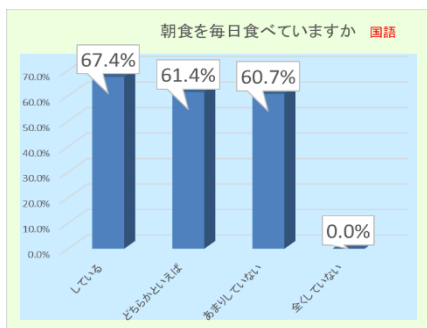
その中で、児童質問紙と学力との相関についての分析をお知らせします。

**自己肯定感と学力の相関**です。左が国語、右が算数の結果です。(以下同様です)



自己肯定感と学力との相関はみられませんでした。同様に「幸せに感じる」も相関はみられませんでした。この結果は価値の多様化を表していると思ひます。学習で自分のよさを感じている子供もいれば、運動で自分のよさを感じている子供もいます。自己肯定感を高めていくために、多面的に個々のよさを認め、励ましていきます。

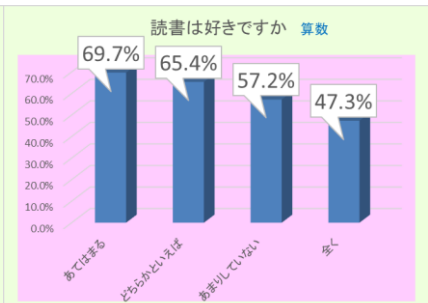
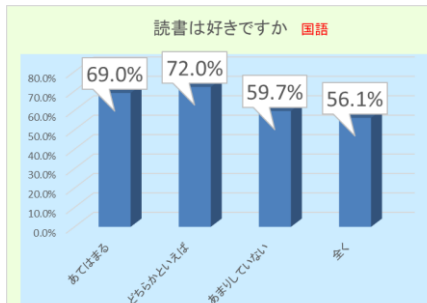
**生活習慣と学力の相関**です。



生活習慣と学力の相関はみられました。朝食を食べていると学力の相関はみられました。就寝時刻や起床時刻等、他の生活習慣に関することも学力との相関がみられました。

生活習慣については、家庭と連携しながら意識して指導していきたいと思ひます。

**読書好き及び学習方法と学力の相関**です。



読書好きと学力の相関はみられました。特に、国語より算数の方が強い相関がみられました。以前、他校で同様に分析したときには、理科とも強い相関がみられました。

読書にも、今までと同様に指導を継続していきます。

また、課題を解決する主体的な学習と学力の相関もみられました。

今、本校が研究で取り組んでいる「理科・生活科」の学習は、主体的な問題解決です。なお一層、力を入れていきたいと思ひます。

2学期も子供のために、教職員一同、全力で教育活動に取り組んでまいります。